

平成 29 年度 第 1 回 昭島市行財政運営審議会

議 事 要 旨

〔日 時〕 平成 29 年 7 月 24 日（月） 午後 6 時

〔場 所〕 昭島市役所 1 階 市民ホール

〔出席者〕

1 委員

小池満也会長、田中啓之副会長、赤田輝子委員、荒井康裕委員、金野美奈子委員、
真如むつ子委員、高橋良昭委員、平野博典委員、宮田次朗委員、山下俊之委員

2 事務局

臼井市長、早川副市長、山下企画部長、板野行政経営担当課長、関谷企画調整担当係長

3 傍聴者

なし

〔配付資料〕

- ・ 第 1 回昭島市行財政運営審議会次第
- ・ 昭島市行財政運営審議会委員名簿
- ・ 諮問（写し）
- ・ 今後の進め方について
- ・ 第五次昭島市総合基本計画
- ・ 昭島市の現状について（決算のあらまし、昭島市の財政状況、市職員の状況等）
- ・ 昭島市行財政改革推進会議報告書（第四次中期行財政運営計画の取組と評価）

〔議事要旨〕

1 委嘱状交付

交付に先立ち、市長より挨拶があり、行財政運営審議会の諮問にあたり、審議会設置の趣旨や審議会委員への期待が述べられた。

続いて、市長より各委員に委嘱状が交付された。

委嘱状交付後、各委員及び事務局職員の紹介が行われた。

2 会長、副会長の選任

委員の互選により、会長に小池委員、副会長に田中委員が選出された。

3 諮問

市長より、「少子高齢化・人口減少社会に対応した、持続可能な自主自立の行財政運営のあり方」が諮問された。

4 今後の進め方について

事務局より、会議の公開、会議録（議事要旨）の作成及び公表、パブリックコメントの実施、今後のスケジュールについて説明。

<質疑応答>

- ◆ 今後のスケジュールとして、事務局案として第6回までの日程が決められているが、各委員より意見があればお伺いしたい。【小池会長】
- 事務局としては、パブリックコメント等の日程等も考慮する中でこの日程で決定をさせていただきたい。ただ、あくまで現時点での事務局案であり、変更が必要な場合には一定の調整を図らせていただこうと考えている。【事務局】
- ◆ 第2回から第6回までの会議の開催が午後6時30分からとなっているが、審議会にかかる時間はどのくらいか。【平野委員】
- 概ね2時間程度を予定している。【事務局】
- ◆ 各委員よろしければこのスケジュールで決定させていただき、是非協力をお願いしたい。【小池会長】

5 昭島市の現状について

事務局より、（1）第五次総合基本計画の概略について、（2）昭島市の現状として、平成28年度決算に基づく市の財政状況等について、（3）第四次昭島市中期行財政運営計画の概略や行財政改革推進会議による評価等について、それぞれ説明。

<質疑応答>

- ◆ 一通り説明いただいたが、市が力を入れている部分など、我々はどこを重点的に審議していけば良いのか。【平野委員】
- 昭島市行財政改革推進会議報告書89ページに今後の課題として、第四次中期行財政運営計画がどの様に進行されていたのか、今後の財政需要を考えると平成29年以降も新たな計画を策定する必要があると述べられている。新たな計画の策定にあたっては、こうしたところを論点として取り組んでいただければと思う。今後、我々の方で順次示していきたいと考えているので、その部分をご議論いただき、ブラッシュアップした計画を作っていきたい。【事務局】
- ◆ 前提となるのが、持続可能な行財政である。持続可能ということは赤字を増やしてはいけないという意味で解釈して宜しいか。【平野委員】
- 赤字を増やしてはいけないという視点だけではなく、市税収入を一定程度確保出来ないと、市の財政運営は回っていかないと考えている。当然、歳出の削減や赤字地方債の借入額の抑制は必要となってくる。出来ないのであれば、逆に歳入を増やそうという発想も必要となる。市税収入だけに頼らず、多角的な方向で歳入を確保する方法はあるのではないかと。受益者負担の見直しや、市が持っている普通財産の売り払いや貸出など、色々な方法があると思うので、すべてを包含した計画を作っていきたいと考えている。【事務局】
- ◆ 基本的にはプライマリーバランスをゼロにしたいということではないのか。【平野委員】

- 財政の健全化と言うことは大きな計画上の提言の一つであるが、必ずしもプライマリーバランスということだけではない。平成6年度に健全化に着手し、第四次まで行財政運営計画を策定してきたが、新たな計画については、今までとは視点を変え、昭島市行財政改革推進会議報告書 89・90 ページで述べられている指摘に沿って策定していきたい。【事務局】
- ◆ 健全化計画ということは、健全化の定義は何かということにならないか。【平野委員】
- 行財政運営の健全化には、財政もそうだが、行政運営の面もある。その健全化を目指す、自主自立の行財政運営を目指すということである。出来れば、昭島市行財政改革推進会議報告書にある今後の課題として、これまでの第四次計画の中身や、報告書の前段の部分は汲んでいただき、今後の意見に反映していただければと思う。【事務局】
- ◆ 28 年度決算ということで、現状判っているまでの数字を示していただいた。持続可能な行財政運営ということであるから、当然将来に向けて、こうしていこうという姿が必要であると思う。そうすると、財政推計的なものが、このままだとこうなる、これをこんな風にしていかないと健全な行政運営が出来なくなるというのが見え、そのことを平野委員は言っているのだと思う。一つが財政部門でのプライマリーバランスであり、それ以外の行政運営の方の建設計画などで、どの様にやりくりすればいいのかと考えられる。その辺りの資料を示していただくと意見が出しやすいと考えられる。【山下委員】
- この先どういった状況になっていくのかについて、今後、中期財政計画なども示しながら、この審議会を通じて明らかにしていきたいと考えている。新たな計画については、ある程度事務局で用意し、それについて議論いただく形で進めていきたいと考えている。【事務局】
- ◆ 事務局より過去の実績を提示していただいた。健全化の状況が指標としてあったが、これを見る限り成果はそれなりに出ている。ただ、サービスがどうなのか等については、これから色々議論が出てくると思う。事務局からも話があったが、次はどうするのか、次の数字が悪かったら市民が困るという話が当然出てくると思う。赤字のサービスを廃止するのか、赤字のままでも続けた方がいいのか。色々なパターンがあると思うので、それぞれの立場で検討をいただければと思う。【小池会長】
- ◆ 第四次中期行財政運営計画の計画期間は5年であったが、社会の状況はものすごく速く変化している。新たな計画の期間を短縮するなどの考えは。【赤田委員】
- 新たな計画については、第五次総合基本計画が32年度までとなっており、それと併せて3年間とする予定である。第四次中期行財政運営計画でも行ったが、計画策定後に行財政改革推進会議を立ち上げ、進捗状況についてチェックをいただき、どの様に行っていくか対応を考えていく予定である。【事務局】
- ◆ 次回以降、中身を踏まえて議論いただきたい。先ほど平野委員からも意見があったが、議論をしていく上での色々な数値を事務局から出していただき、出来れば1週間前までに資料をいただければと思う。【小池会長】

6 その他
特になし。

次回の審議会は、8月22日（火）の午後6時30分から開催することを確認し、閉会した。